

日本機械学会関東支部埼玉ブロック主催 平成27年度「夏休みロボット工作教室」実施報告

埼玉県さいたま市青少年宇宙科学館と合同で、さいたま市、および、その近郊に住む小中学生を対象として、下記の要領で「夏休みロボット工作教室」を開催した。その報告を以下に記す。

実施日時：平成26年8月22日（土）

会場：さいたま市青少年宇宙科学館

1. 本事業の概要

「夏休みロボット工作教室」は、20年以上前から、日本機械学会関東支部埼玉ブロック他の支援を受けつつ、埼玉大学とさいたま市青少年宇宙科学館合同で毎年開催されてきたイベントである。主に、近隣に住む小中学生を対象として、ものづくりの楽しさや機械の仕組みを教えることを目的に実施されてきている。今年も、131名の応募の中から抽選で選ばれた小学校3年生4名、小学校4年生4名、小学校5年生4名、小学校6年生5名、中学校1年生3名、計20名を対象に、スカベンジャー・ロボットの製作体験学習を行った。以下に、詳細を説明する。

2. 実施内容詳細

今年度も、昨年同様、日本機械学会の主催する全国イベントであるロボットグランプリで実施されているスカベンジャー・ロボット競技との連携を念頭に、スカベンジャーロボットキットを使ったロボット工作教室を行った。参加者は、配布された資料に基づき山崎教育システム株式会社が販売している「スカベンジャー・ロボットキット（ロボットグランプリ用特別仕様）」を利用して、スカベンジャー・ロボットの製作を行う。ニッパ、定規、ドライバ等の工具を使いつつ組立てを行い、最終的に、用意したテスト走行用フィールド内に持込み、テスト走行を行った。

また、工作教室の中では、ロボットグランプリの紹介、日本のロボット研究開発の歴史と最先端のロボット研究の紹介を1時間程度行い、続いて、スカベンジャー・ロボットキットの組み立てを行った。当日は、午前9時半よりスタートし、昼食、休憩を挟みつつ午後5時に終了した。以下に、当日の風景写真を掲載しておく。



写真 製作風景



試走会風景

(報告書作成：埼玉大学 琴坂信哉)

以上